

# 「値上げ加速の秋」対策が必要

## しかし、9月議会は全く対策なし

ハタノこうめ議員は、「値上げ加速の秋」物価高騰に対する手当が必要だが、9月議会にはまったく予算化されていない、市長は市民生活をどのように見ているのかと質問しました。市長は最後まで答弁に立つことはありませんでした、変わって部長が答弁しました。以下質問の主旨と答弁を紹介します。

は様々な施策が独自策として実施されています。(左表)市長は市民の暮らしをどのように見ているのですか。対策は必要ないとみているのですか。と質問しました。市は、現在の対策で十分と考えているわけではない。国や県の動向を見て判断すると答弁しました。他市町村では、国に先駆けて様々な独自施策を実施しています。各務原市も国待ち県待ちにならず、臨時議会を開いても困っている人に手を差し伸べてほしいと主張しました。

深刻な物価高騰が引き続きし、市民のくらしと営業を脅かしています。市民にとって身近な存在である自治体として、市民のくらしに対する支援を国や県まかせて良しとするのではなく、また6月議会での補正だけで良しとするのではなく、市独自に上乘せする、新たな施策を実施するなど、対策が求められており、しっかり応えていくことが重要。特に生活が困窮している、生活保護受給者や低所得者について、10万円の住民税非課税世帯等臨時特別給付金がありました、これでカバーすることは酷であり、国はさらに5万円の臨時給付金を実施します。今年も、猛暑でエアコンのない高齢者世帯はどのように過ごされたのか、低所得者世帯は、高騰する光熱費を心配してエアコンを利用しない、制限しているなど健康と安全が脅かされる事態となっています。

また、無料食料配布を利用せざるを得ない市民や学生さんがいる状況は、まだまだ続いているのです。困窮する子育て世帯にとっても、生活が苦しく特に給食が無くなる夏休みはたいへんでした。

市民は大変な生活を余儀なくされていますが、9月議会には物価高騰対策などがまったくありません。他市で

### 他市では様々な独自策を実施

- ①生活保護受給者や障害者、年金生活者など低所得者への特別手当を支給。
- ②高齢者世帯など(非課税・生活保護世帯)にエアコン購入代助成。
- ③中小事業者への支援金支給や緊急融資枠を拡大。
- ④医療機関、福祉施設で負担増となっている食材費や光熱費、送迎者のガソリン代など必要経費増加分を補てん。
- ⑤本来無償化であるべき学校給食費を無償化。
- ⑥乳幼児のおむつ代の助成。
- ⑦水道基本料金を免除。
- ⑧新入学児童生徒に対して、学用品や制服等の準備経費の補助。
- ⑨児童福祉施設等を退所した子どもへ1人あたり10万円、生活保護世帯から進学した学生に、1人10万円を支給。
- ⑩妊婦特別給付金、ひとり3万円を支給。

ハタノこうめ議員は2018年12月議会でも重いランドセルについて質問し、教育長は「絵の具や習字道具の携行品は学校に置く。教科書も置き勉ができるように、一層考える」と答弁しています。

しかし、ランドセルは軽くなっています。英語や道徳の必須化で教科書は増え、タブレットは毎日持ち帰らなくてはなりません。体重20kgそこそこの1年生が4kgのランドセルを背負って3kmの道のりを歩いています。健康被害も問題になっていることから、ランドセルを軽くする必要があります。その対策は何かと質問しました。

教育長は、置き勉をするために、置き場所を確保する。学校ごとクラスごとに対応が違っていることから、共通理解・共通行動が図られるよう各学校を指導すると答弁しました。

### ランドセルが軽くないのは

- ★教科書のページ数15年間で1.7倍
- ★カラー印刷で上質紙
- ★サイズもA4判サイズ
- ★英語や道徳の教科が必須化
- ★寺子屋の問題集
- ★絵具、習字セット(水洗いが必要と持ち帰る)
- ★タブレットも毎日持ち帰る

## 重いランドセル何とかして～

